

教 育 警 察 委 員 会      委 員 協 議 会      記 録

1 会議の日時	<p style="text-align: right;">開 会    午後 0 時 5 8 分</p> <p>令和 4年 8月 29日</p> <p style="text-align: right;">閉 会    午後 2 時 1 6 分</p>	
2 会議の場所	<p style="text-align: center;">総 務 委 員 会 室</p>	
3 出席者	委 員	<p>委員長    恩 田 佳 幸      副委員長    所    竜 也</p> <p style="padding-left: 100px;">岩 井 豊 太 郎    小 川 恒 雄    川 上 哲 也</p> <p style="padding-left: 100px;">水 野 正 敏    林    幸 広    澄 川 寿 之</p>
	執 行 部	<p style="text-align: center;">別 紙 配 席 図 の と お り</p>
4 事務局職員	<p>主査    鷺 見 和 良      課長補佐兼係長    大 野 享 子</p>	

5 会議に付した案件		審査の結果
件	名	
1	県立高校の活力ある学校づくりに関する取組について	
2	その他	
	・学校における新型コロナウイルス感染症対応について	

## 6 議事録（要点筆記）

### ○恩田佳幸委員長

ただいまから、教育警察委員会委員協議会を開会する。

本日の協議会は、委員会の所管事項の調査や施策の評価の充実を図るために開催したものである。

議題は、お手元に配付した「次第」のとおりである。

説明員については、今回の議題に関わる教育委員会関係課から出席いただいているので、あらかじめご了承ください。

それでは、執行部から説明をお願いします。

はじめに、「県立高校の活力ある学校づくりに関する取組について」を議題とし、執行部の説明を求めます。

（執行部 堀教育長 挨拶）

（執行部 関谷教育総務課長 説明）

### ○恩田佳幸委員長

ただいまの説明に対し、質疑はないか。なお、質疑は一問一答をお願いします。

### ○澄川寿之委員

ふるさと教育の効果を検証するため、「高校生の意識に関する調査」を実施しているとのことだが、対象生徒は、

### ○関谷教育総務課長

全ての県立高校2年生全員に対して実施している。

### ○澄川寿之委員

全ての県立学校に学校運営協議会が設置されたということであるが、学校運営協議会の長は誰か。学校によって異なるのか。

### ○関谷教育総務課長

各学校によって異なる。最大10名で構成される協議会であり、協議会に参画いただく方は、行政、企業、保護者、自治会などの方で、その選定は学校によって行われ、一律に決まっているわけではない。委員長については、委員の中で選出いただく。なお、学校は事務局を務めている。

### ○林幸広委員

学科横断的な取組とは具体的にどのようなものか。

### ○下野学校支援課長

例えば、農業科の産品に関して商業科で販売方法を考えるなど相互に連携をしている。専門高校に限らず、スーパー・ハイスクール・セッションでは、学校や学科が違う生徒が一堂に会し、一つの課題を探究する活動も行っている。探究的な学びは、学科や教科等の壁を取り払った活動が一つの目的でもある。

### ○林幸広委員

例えば、生徒は工業の土木科に行きながら、他にも興味がでてきた場合、農業の方向へ進むことはで

きるのか。

○下野学校支援課長

現在の教育課程では、生徒の実情に応じて各校で学校設定科目を置くことができ、生徒は専門以外の分野も選択して学ぶことができる。ただ、在学途中で学科の移動は難しい。なお、総合学科では、入学した後に専門性に応じてコース選択することが可能であり、入学する段階で迷いがある場合は、総合学科というのも選択肢の一つである。

○林幸広委員

総合学科で学ぶ場合、就職などを見据え、自分の方向性が決まった段階で専門分野を切り替えることはできるのか。

○下野学校支援課長

多く総合学科では、最初の1年間で幅広い分野を学び、2年生から色々なコースに分かれるのが基本で、教育課程の範囲内である程度本人の志望に対応できるようにはなっている。

○林幸広委員

専門学科を卒業しながら、学んだ分野と違う職種や大学に行くことも多々あることから、そういった面では、高校入学時に迷う場合は総合学科を選択するのもいいことである。

○岩井豊太郎委員

資料では、普通科・総合学科等がある学校を、特性に応じて3つに分類して活性化の基本方針を整理しているが、どういった基準で分類しているのか。

○関谷教育総務課長

進路の状況に応じて整理している。普通科・総合学科等の場合は、「選抜制の高い大学への進学が多い学校」は国立大学を始めとした大学への進学、「いわゆる中堅校」は国立大学、私立大学、専修学校等幅広い学校への進学、「進路先が多様」とは進学に加えて就職を選択肢とする生徒が多いという整理である。

○岩井豊太郎委員

いろいろな見方があるが、時代によって進学先の学校が変わって来ていると感じる。個人の希望や教員の進路指導の進め方により異なるかもしれないが、この分け方はいつまでも必要なのかという疑問がある。

○水野正敏委員

学校の特性に合わせて分類し、様々な方法で取り組んでいるという趣旨かと思うが、学力のレベルが異なる場合でも、県内全ての学校が同じ取組をした方が良いという可能性もあるのではないかと。今後は、検証しながらいろいろな道を探してほしい。

○関谷教育総務課長

ご意見を踏まえて今後、取組の方向性について検証しながら進めてまいりたい。

○堀教育長

分類によって進路が決まっているというわけではなく、高校3年間の中で子供たちは変化するため、それに応じた形で高校での教育が必要であるので、ご意見を参考にしたい。

○恩田佳幸委員長

「高校生の意識に関する調査」は全ての県立高校2年生を対象に実施したということであり、先ほど、ふるさと教育の項目に関する肯定的回答の数値が上昇していると説明があったが、ふるさと教育を開始した時の目標に対して、どういった結果の数値になっているのか。

○関谷教育総務課長

第3次教育ビジョンでは、数値目標が設定されている。例えば、「課題解決に向けて、自分で考え取り組むことができる」という指標は、基準値となる2018年の調査では69.6%で、目標値を100%と設定している。この目標値に対して現在は77.5%であり、目標に対しては達成していないが、年々着実に増加しているという状況である。

○恩田佳幸委員長

県立学校におけるふるさと教育の展開の中で、最終的なKPI、KGIはどのように設定されているか。

○関谷教育総務課長

KPIが中心になるが、第3次教育ビジョンにそれぞれの施策に関連した指標を設定して数値目標を掲げており、それぞれの数値で達成状況・成果を検証していく。KGIについては特段示していない状況であるため、KPI中心の計画になっていることは事実である。

○恩田佳幸委員長

KPIは中間目標の位置付けであるが、最終的な目標はどこにどう位置付けるのか。

○関谷教育総務課長

理念的な目標として、自ら課題を発見し、解決して取り組むという社会を生き抜く力を養成していくというところである。加えて、近い将来地域で活躍する人材を育成することが大きな目標であるため、具体的な数値目標は定めていない。

○恩田佳幸委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって「県立高校の活力ある学校づくりに関する取組について」の質疑を終了する。

次に、その他報告事項について、執行部から報告がある。

(執行部 関谷教育総務課長 説明「学校における新型コロナウイルス感染症対応について」)

○恩田佳幸委員長

ただいまの報告に対して、意見はないか。

○岩井豊太郎委員

子供のワクチン接種の状況は。

○関谷教育総務課長

子供は12～17歳、5～11歳に分類されており、前者は予防接種法上では努力義務化されている。一方で後者は秋には努力義務化されると一部報道されているが、現状は努力義務化されていない状況である。接種の判断については、大人と同様であるが、子供の場合は保護者の意向が強く働くが、各自の判断で接種することになっている。

○岩井豊太郎委員

接種したい場合は誰でも可能か。

○関谷教育総務課長

5歳以上であれば、市町村が発行する接種券により、大規模接種会場や医療機関で保護者同伴のもと接種するというルールである。

○岩井豊太郎委員

接種は保護者の判断によるが、感染者の状況を見ると、ワクチン接種の促進に向けて何か手を打たなければならぬのではと感じる。

○水野正敏委員

高校生はワクチン接種を希望しているが、保護者は接種しなくていいといった場合、子の意思は尊重されるのか。

○関谷教育総務課長

16歳未満の場合は保護者の同意が必要で、予診票への保護者の署名が接種の要件となっている。一方で、16歳以上の場合は保護者の同意は必要ないため、本人の意思により接種が可能である。

○川上哲也委員

健康チェックカードは毎日提出する必要があるか。また、発熱以外の症状（のどの痛みや咳）を確認した場合、確認してから学校や部活動等を控える必要がある日数の基準はあるのか。

○中川教育総務課教育主管

学校の部活動においては、活動開始前に健康チェックカードで当日の健康状態を確認している。生徒が該当項目に1つでも当てはまる場合は基本的には参加させない。過去7日間で体調不良があり、医療機関を受診していない場合も、同様の取扱いとすることとしている。

○川上哲也委員

部活動の大会等の参加に関する基準は、学校の定めた基準に準ずると聞かすが、どのような基準になっているのか。

○浦野体育健康課長

試合や大会への参加については、各競技団体の策定しているガイドラインに沿って判断することになる。

○川上哲也委員

学校の定めた基準に従うのではないのか。

○浦野体育健康課長

高体連主催の大会の場合になるが、対応は中央競技団体の基準で実施する。

○恩田佳幸委員長

意見も尽きたので、その他報告事項については終了する。

以上で本日の議題は終了したが、この際、何か意見等はないか。

また、執行部から何かないか。

○岩井豊太郎委員

高校の教育の中で、今年から金融教育が必修になったそうだが、その背景は何か。

○下野学校支援課長

消費者教育、特に金融教育は今年度から始まった新学習指導要領に盛り込まれた。金融教育に関する内容は、家庭科の科目が中心で、「公共」にも一部含まれている。必修化の背景として、老後の資金設計等を各自で考えて欲しいという方針や、金融に関する知識がある人ほど詐欺の被害に遭いにくいという調査結果等が、金融庁などからも示されている。

教科書には、「投資信託」等の金融用語が登場するが、現段階では全ての担当教員が金融について詳しいというわけではなく、大学教員や金融機関職員など専門家の力を借り、例えば、大垣北高校では大垣共立銀行の職員を招いて金融に関する授業を行った。教員もこうした実践を見て、教材等を活用して独自に進めることができるようになればと考えている。

○岩井豊太郎委員

金融については必要な知識だと考える。もっと早い時期から慣れ親しむことが必要である。必修の内容になったばかりで、教員がどう取り組むかはこれからの課題である。

○川上哲也委員

小中学校では薬物乱用講座等があると聞くが、高校などで外部講師を招くようなテーマは、最近では他に何かあるか。

○下野学校支援課長

高校では教科の授業の他に総合的な探究の時間などがあり、今年度は消費者教育、金融教育、主権者教育が重点的な項目である。他にも、薬物乱用やジェンダーに関する話題等、最近の社会問題について外部講師を招き、生徒の見識を深めている。

○恩田佳幸委員長

他に意見はないか。

意見も尽きたようなので、これをもって本日の委員協議会を終了する。

# 教育警察委員会配席図【教育委員会】

令和4年8月29日(月)  
総務委員会室

出入口

日比 学校教育 総務課 教育主管		石原 学校支援課 教育主管		山田 学校支援課 教育主管		加藤 ICT教育 推進室長		
---------------------------	--	---------------------	--	---------------------	--	---------------------	--	--

中川 教育総務課 教育主管		下野 学校支援課長		兒玉 特別支援教育課長		中村 体育健康課 教育主管		松中 学校安全課 生徒指導企画監
---------------------	--	--------------	--	----------------	--	---------------------	--	------------------------

		関谷 教育総務課長兼 教育対策調整室長		中村 教職員課長		浦野 体育健康課長		増田 学校安全課長
--	--	---------------------------	--	-------------	--	--------------	--	--------------

神出 教育総合センター長 心得兼教育研修課長		小野 教育次長		堀 教育長		矢本 副教育長		香田 義務教育総括監
------------------------------	--	------------	--	----------	--	------------	--	---------------

出入口

澄川 委員  
水野(正) 委員  
小川(恒) 委員  
所 副委員長

- 
- 
- 
- 

プロジェク

- 
- 
- 
- 

林 委員  
川上 委員  
岩井 委員  
恩田 委員長

スクリーン